

(別紙様式2)

令和5年度 文京区学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

32人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

区が進めてきた子育て支援施策の充実に伴い、子育て世代の転入が増加しており、小学生児童数も直近5年間は毎年3～5%の増加を続けている。一方、都心区である区内で学童クラブを整備できる公共施設は限られており、迅速な整備が進まず待機児童が発生する結果となっている。本区における年少人口は今後も増加傾向が続くと予想されているため、迅速な施設整備が必要である。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

既存の学校施設については児童数増により普通教室も不足しているため、学童クラブの増設は難しい状況である。また、その他の公共施設でも余剰のスペースを見つけるのは難しいことから、民間資源を活用し学童クラブを整備する事で待機児童解消を目指していく。

(2) 具体策

民間資源を活用するため、賃貸できる物件と施設運営をセットで提案する事業者を公募する「物件提案型育成室運営プロポーザル」や、学童クラブの整備が可能な商業ビル等の物件を募集し区が賃借することにより、学童クラブを整備する。また、同様の方法にて、定員20名程度の小規模な学童クラブの整備を進めていく。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

民間物件等を活用した方策により、公共施設等の資源が不足する地域においても、ニーズをとらえたスピード感のある学童クラブ整備を行うことができ、地域偏在の課題をクリアしながら待機児童対策を行うことができる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	8,454	8,913	9,307	9,806	10,214
増減	—	459	394	499	408
登録児童数	1,598	1,634	1,675	1,834	1,866
増減	—	36	41	159	32
待機児童数	16	22	6	33	35
増減	—	6	▲16	27	2

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	10,541	10,980	11,103	
増減	327	439	123	
登録児童数	1,937	2,095	2,313	
増減	71	158	218	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	「物件提案型育成室運営プロポーザル」を中心に整備を進めていく。 「物件提案型育成室運営プロポーザル」や、学童クラブの整備が可能な商業ビル等の物件を募集し区が賃借することにより、学童クラブを整備する。			
待機児童数	32	76	0	
増減	▲3	44	▲76	▲35